

低入札価格調査の実施概要

業務名：田沢二期農業水利事業 第二田沢幹線用水路他完了図書作成業務

調査の対象となった業者名：昭和技術設計株式会社

調査項目	内 容
1. 当該価格により入札した理由	昭和技術設計(株)(以下「応札者」という。)は、現時点において契約金額500万円以上の手持ち業務が1件であり、近々に手持ち業務を確保する必要があった。 応札者は、本業務の入札に当たり、社内で検討した結果、現在の技術者の体制で作業を効率的に進めることができると判断し、品質確保を大前提としつつ、積算上の一般管理費等を企業努力により極力削減して入札を行った。 なお、品質確保が大前提であり、必要な人員配置による業務実施体制は確保されていることを確認した。
2. 入札価格の内訳書、内訳書に対する明細書	「直接原価」は、予定価格9,793千円の100%が、「その他原価」は、予定価格4,915千円の90%が確保されている。 「一般管理費等」は、交際費及び販管費を抑えた経営をすることにより比較的低い金額であっても企業運営が可能な額を計上している旨確認した。
3. 当該業務の履行体制	業務実施体制は、管理技術者、担当技術者(5名)の計6名体制とし、全て自社の正社員を充てることを確認した。
4. 配置予定技術者名簿	本業務に必要な土地改良補償士及び土地改良補償業務管理者の有資格については、登録証書の写しにより確認した。
5. 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況	契約金額500万円以上の手持ち業務としては、国発注の用地測量業務1件(履行期間令和6年10月)の状況でありピークのタイミングは重ならないことを確認した。
6. 手持ち機械等の状況	該当なし
7. 過去において受注・履行した同種又は類似の業務の名称及び発注者	管理技術者及び担当技術者6名全員が、国の業務経験があることを確認した。
8. 当該業務の品質確保計画の内容	作業進捗について第三者照査以外にも農業土木経験者の視点でのチェックをし、発注者と都度確認を行い記録を残しながら業務を進めていくこと、今回資料として提出のあった「当該業務の品質確保計画」に則って、成果品質の確保に努めることを確認した。
9. 決算報告書	直前3年間の決算報告書(貸借対照表、損益計算書等)により財務状況を確認したところ、自己資本比率、流動比率について一定の割合を高い位置で確保しており、どの期においても当期純損失はないことから、経営上問題ないものと判断する。